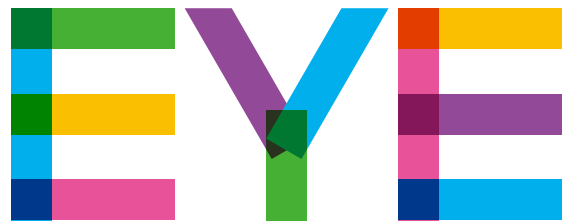


# あなたの県政 ひょうご

平成30年度版



## 県政150周年 未来への扉を開く



兵庫県マスコット  
ははたん



<http://web.pref.hyogo.lg.jp/>



兵庫県

# 県政150周年 未来への扉を開く

## 大転換期

明治維新と時を同じくして兵庫県が発足して150年が経とうとする今、世界は大転換期を迎えています。

変化の原動力は、情報通信技術です。情報には時間、空間の壁はありません。情報を瞬時に共有する基盤が地球規模で整い、貨幣までもが国境を超えて飛び交う時代になっています。人工知能が人間の領域を脅かす世界も現実化しています。

経済の勢力図が書き換えられつつあります。今や成長の中心は中国です。例えば、発展著しい広東省の経済力は、友好提携した1983年には本県の半分もありませんでしたが、今では本県の7倍に達しています。次にはインド、さ

らにはアフリカが控えています。

日本では人口減少、高齢化が進んでいます。明治以降増加してきた人口は、少子化により長期の減少局面に入っています。昨年は40万人の自然減、本県でも年1万人以上のペースで減少しています。今後50年、100年にわたる人口減少は避けられません。

しかも、人々の価値観が多様化しています。人とのつながり、時間の豊かさ、健康など、一人一人が自分の大切にする価値を追求する時代になっています。

大きく変化する世界の中にあって、人口が減り、少子高齢化が進む中でも活力を保ち、誰もが豊かさを実感できる地域をつくっていかねばなりません。

## 主役は県民

振り返れば150年前の日本も大転換期にありました。産業革命により工業化した欧米列強がアジア、アフリカの植民地化に乗り出し、ついにその手が極東の小さな島国に伸びようとしていました。

この大波に立ち向かったのが幕末の若き志士たちでした。明治維新に計画も設計図もありませんでした。過去からの延長線上でしか対処できない幕府に危機感を抱き、列強に対抗できる近代国家を建設しなければならぬという夢を追って果敢に行動した若者たちが新しい国をつくる力となったのです。

そして今、時代を変える志士となるのは、若者をはじめ、今を生きる私たちです。既存

の枠組みを超える新たな発想でこの大転換期を乗り越えていかなければなりません。

## 未来への扉を開く

兵庫150年の歴史を振り返ると、そこには常に、激しい変化の中でも明るい未来を願い、奮闘してきた人々の姿があります。

気候風土、文化の異なる五国の統合による大兵庫県の誕生。工業化と都市化。不況と戦争。焼け野原からの戦災復興。高度経済成長。阪神・淡路大震災からの創造的復興。そして、その間ずっと続けられてきた、個性豊かな五つの地域が一つになって総合力を発揮する雄県兵庫をつくる取

兵庫県知事  
井戸敏三



## 県政150周年記念事業の展開

今年兵庫県の成立して150周年目に当たります。この節目に県民一人一人が歴史を振り返り、兵庫の未来を考える機会とするため、記念事業を全県で展開していきます。

📍 県政150周年記念事業室 ☎ 078 (362) 4263 📠 078 (362) 3950

### 主な150周年記念事業

#### ● 県政150周年記念式典

150周年を県民の皆さんと共に祝い、将来の兵庫の姿を共有する機会として開催します。

開催日：7月12日(土)

開催場所：神戸国際会館

内容：芸術文化センター管弦楽団の記念演奏や兵庫2030年の展望(仮称)の発表など

#### ● 「兵庫2030年の展望(仮称)」発表

社会の大きな変化が見込まれる2030年ごろの兵庫の目指す姿とその実現に向けた取り組みの方向性等を取りまとめます。

### 参加しませんか

#### ● 県民連携事業

県民の皆さんが企画・実施する、創意工夫にあふれたさまざまな取り組みを支援します。

事業実施期間：2018年度中

助成額：1団体5万円～50万円

対象：県内で活躍する地域団体、ボランティア団体など

#### ● ひょうご五国博の開催

ふれあいの祭典を「ひょうご五国博」として内容を拡充して開催します。

開催日：10月20日(土)、21日(日)

開催場所：県立明石公園とその周辺

内容：ステージイベント、ブース出演により、ひょうご五国の魅力発信  
※上記の他、五国で地域事業あり

### 進めていきます

#### ● 初代県庁の復元

初代県庁復元施設の基本設計等を行うとともに、県民が県の成立や兵庫五国の歴史などへの理解を深める県政資料館(仮称)の基本構想・基本計画を策定します。

#### ● 県史の編さん

兵庫県百年史を継ぐ、これまでの歩みを振り返り次代を開く礎となる兵庫県史を編さんします。

対象期間：1967年～2018年

発行時期：2022年3月(予定)

## TOPICS

### 兵庫県の成り立ち

兵庫県が成立したのは神戸開港の翌年、1868(慶応4)年5月23日(新暦7月12日)です。初代知事は、後に初代内閣総理大臣となる伊藤博文。当初は神戸を中心に複数の飛び地を所轄する小さな県でしたが、その後の廃藩置県や併合を経て、1876(明治9)年に現在の県域とほぼ同じ姿となりました。 兵庫県知事時代の伊藤博文▶



### ポータルサイト「兵庫県政150周年」

記念事業で紹介したイベント情報や、漫画「兵庫の歴史」、150周年記念特別映像など、150周年に関する情報を発信しています。 [兵庫県政150周年](#) 検索▶



り組み。  
順風満帆な道のりではあり  
ませんが、その時々  
の県民の力で着実に発展への道  
を歩んできました。  
県政150年を迎える今、  
改めて歴史を振り返る意味は  
何か。それは、先人たちの夢と

行動が今の兵庫をつくってき  
たことを知るためです。未来  
を知ることはできなくても、  
未来をつくることはできる。  
そのことを学ぶためののです。  
必要なのは、夢と行動。将  
来を不確定と見るか、無限の  
可能性が開かれていると見る

かは、私たち次第です。世界  
は急速に変わりつつあり、未  
来はきつと現在の延長線上に  
はありません。既成概念にと  
らわれず、変化を恐れること  
なく、新しい一歩を踏み出さ  
なければなりません。  
参画と協働の基本姿勢に立

ち返り、安全安心の確かな基  
盤の上に、県民が望む生き方、  
働き方ができる地域をつくる、  
これこそ兵庫の新時代を拓く  
道筋です。  
さあ皆さん、未来への扉を  
ともに開こうではありません  
か。

# 平成30年度当初予算

平成30年度は、最終2カ年行革プランに基づき、収支均衡を達成するとともに、県政150周年の節目の年であることから、今後、本格的な人口減少局面を迎える中でも、元気な兵庫をつくるため、地域創生に本格的に取り組み予算とし、中長期的な兵庫の進むべき方向のスタートとなる予算を編成しました。

## 予算編成の基本方針

### ▼行財政構造改革の着実な実行

最終2カ年行革プランで定める財政運営の平成30年度の目標達成に向け、改革の視点を踏まえ、行財政全般にわたる構造改革を着実に実行します。

### ▼「兵庫の新时代を切り拓く」施策の推進

県政の原点である県民との「参画と協働」を基本姿勢としつつ、県民ニーズを的確に踏まえ、「新時代の兵庫づくり」（県政150周年記念事業）「安心できる社会づくり」「次代を担う人づくり」「元気な地域づくり」「社会基盤の充実」を県政の重点施策として、積極的に取り組みます。

### ▼事業の「選択と集中」の徹底

新規事業の立ち上げに当たっては、既存事業をゼロベースで見直して財源の確保に努

め、事業の「選択と集中」の徹底を図ります。

### ▼国の動向等の適切な反映

地方創生や社会保障と税の一体改革、経済・財政再生計画に基づく歳出改革など、国の政策動向や予算編成、地方財政対策についてその動向を十分注視し、県予算へ適切に反映します。

### ▼市町との連携・協調の推進

効果的・効率的な事業執行、県民の利便性向上を図るため、市町との適切な役割分担の下、連携・協調した事業を展開します。

### ▼歳入確保対策の推進

厳しい財政環境の中での予算編成を行うに当たり、税收確保対策をはじめネーミングライツやふるさとひょうご寄付金などの歳入確保対策を積極的に推進します。

### ▼働き方改革による効率化

効率的な業務の執行、仕事

と生活の調和など働き方改革の推進に向けた取り組みを推進します。

### ▼通年予算の編成

災害対策などの緊急的な対策を除き、通年予算を編成します。

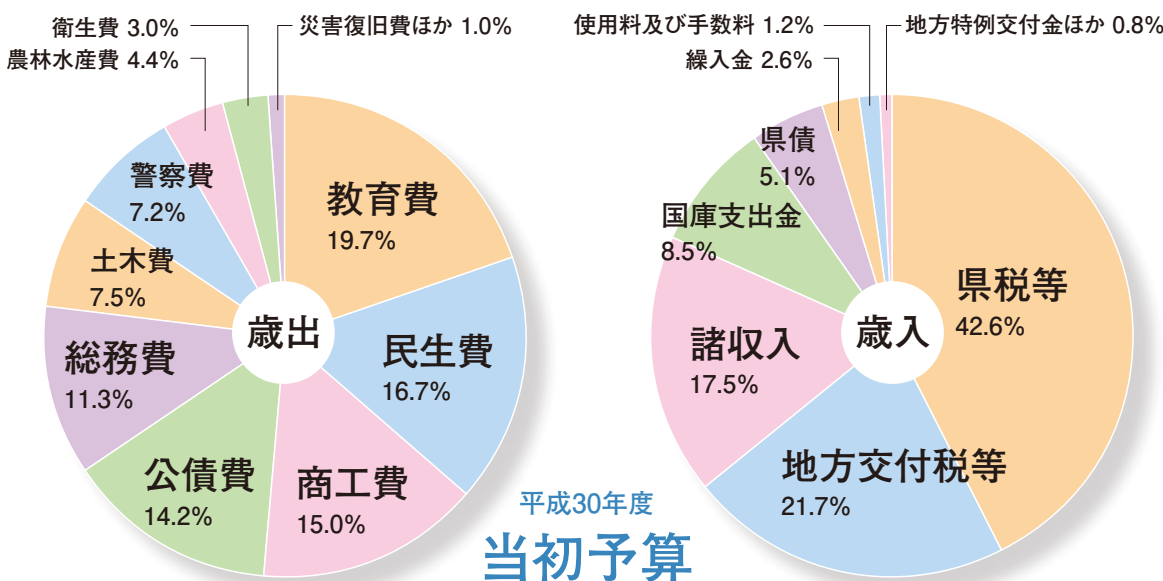
## 歳入

### ▼県税等 8049億円

神戸市に移管された義務教職員人件費の財源として個人住民税所得割2%分（248億円）が移譲され個人関係税が大幅減となるものの、内需の回復基調等を反映した地方消費税の増などにより、前年度を56億円上回る8049億円を計上しました。

### ▼地方交付税等 4103億円

臨時財政対策債（1124億円）を含む実質的な地方交付税は、算定の基礎となる基準財政収入額が伸びることから、前年度を14億円下回



総額 **3兆7,138億円** 対前年度比 115.8%

一般会計 1兆8,880億円 | 特別会計 1兆5,476億円 | 公営企業会計 2,782億円

る4103億円を計上しました。

▼国庫支出金 1600億円

医療介護推進基金積立のための交付金や地方創生推進交付金が増となるものの、国民健康保険財政安定化基金積立のための交付金を新たに設置する国民健康保険特別会計に計上することなどにより、前年度を44億円下回る1600億円を計上しました。

▼県債 954億円

投資的経費に活用する県債は、緊急防災・減災事業の活用や公共施設等適正管理事業債の増などにより、前年度を52億円上回っています。一方、財源対策に活用する県債は、収支均衡を達成することから発行せず、県債全体では、前年度を117億円下回りました。

●県債残高(今後、金融機関などに実際に償還すべき残高)の推移

実際に償還すべき残高は、4兆8285億円となり、後年度に地方交付税で措置される臨時財政対策債、減収補填債(75%)を除く県債残高は、前年度中の補正予算債や後年

度の借換債の前倒し発行により前年度当初から845億円増加し、3兆507億円となります。

歳出

▼人件費 4685億円

退職手当が、退職給付水準の引き下げにより減となる一方、職員給は、人員削減に伴う減があるものの平成29年度給与改定影響や給料の減額措置の縮小などにより前年度から増加したことから、人件費全体としては、前年度を11億円上回る4685億円を計上しました。

▼行政経費 7827億円

県政150周年記念事業や地域創生の推進のための交付金が増となる一方、中小企業制度資金貸付金が融資実績等から金融機関への預託金が減となることなどにより、前年度を25億円下回る7827億円を計上しました。

▼投資的経費 1884億円

全体では、前年度を48億円上回る1884億円を計上しました。普通建設事業費については、地方財政計画の水準

を基本としつつ、山地防災・土砂災害対策、緊急防災・減災事業、長寿命化・環境整備対策の事業推進を図るため必要な事業費(175億円)を別枠で確保しました。

▼公債費 2681億円

平成26年度に発行した臨時財政対策債の元金償還開始等により元金が増となる一方、発行利率の低下により県債利子が減となることから、前年度を68億円下回る2681億円を計上しました。

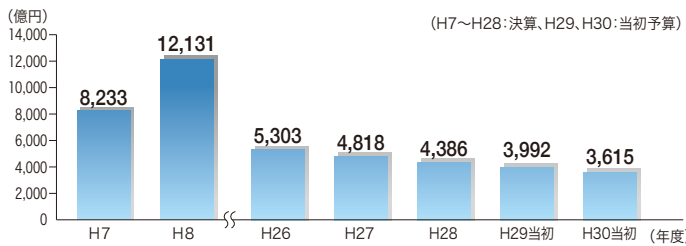
収支不足の解消について

歳入では、個人住民税特別徴収の一斉指定等による県税収入確保や交付税措置のある地方債の活用など、歳出では、一般行政部門等において294人の定員を削減したことなどにより、平成29年度当初予算における収支不足額170億円を解消することができました。

問 財政課

078 (362) 3082  
078 (362) 9049

震災関連県債残高の推移(普通会計ベース)



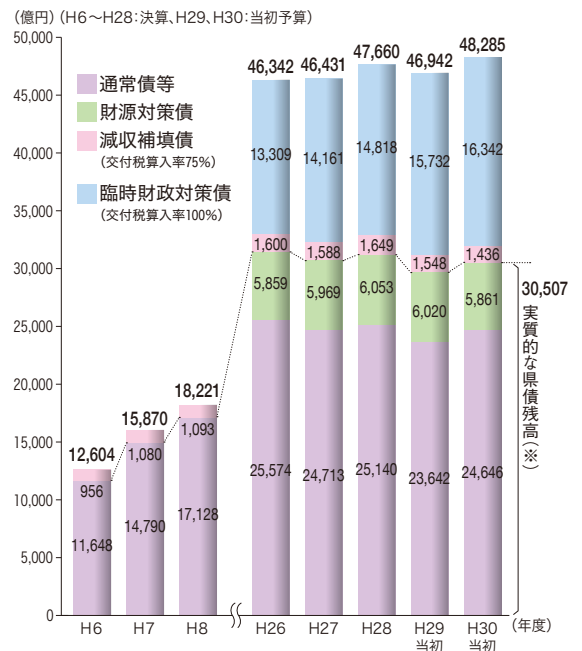
主な財政指標(財政運営の目標の状況)

区分	H30年度当初	H30年度までの目標
収支不足額	0	収支均衡
実質公債費比率(単年度)※1	14.9%	18%水準
県債残高(臨時財政対策債等を除く)※2	79.1%	H19の80%水準
将来負担比率(震災関連県債残高を除く)※1	246.9%	250%水準(H19の全国平均水準)
県債管理基金積立不足率※1	35.7%	H19の3分の2水準
経常収支比率※1	95.8%	90%水準

※1 教職員給与と負担事務の政令市への移譲に伴う標準財政規模の縮減、借換債の前倒し発行による県債管理基金残高等の影響を考慮した場合の数値

※2 県債残高は、臨時財政対策債等に加え、補正予算債を除いた数値

県債残高(今後、金融機関などに実際に償還すべき残高)の推移



※県債残高の総額から、後年度に地方交付税で措置される臨時財政対策債と減収補填債(75%)の残高を除いた県債残高

# 平成30年度の主な事業

## 新時代の 兵庫づくり

### 地域創生の展開

戦略を改定し、元気な高齢者を増やす健康長寿社会づくりも自然増対策と位置付け、施策を展開していきます。

地域創生を加速するため、国の地方創生推進交付金と拠点整備交付金を最大限に活用します。また、地域の資源を生かした魅力づくりを進めるため、県民局・県民センターの取り組みを促します。さらに、本県独自の地域創生交付金を創設し、地域創生戦略の推進に向けた市町の主体的な取り組みをきめ細やかに支援します。

## 安心できる 社会づくり

### 子育て環境の充実

保育定員を増やすとともに、待機児童が集中している都市部での受け皿整備を加速するため、建物の賃料や用地取得に伴う利子負担に助成します。病児・病後児保育の実施箇所も増やします。

これと併せて、保育士の処遇改善を行い、保育人材の定着と質の向上を図ります。子育て家庭の負担を軽減するため、県独自に中間所得層の第2子以降を対象とした保育料助成額を一律1千円増やします。例えば3歳未満の第3子には月7千円まで助成し



七夕祭り。地域の伝統行事を継承していきます

ます。保護者の多様なニーズに対応するため、21時まで延長保育を行う保育所や19時半まで開所する放課後児童クラブへの支援を行います。地域で子どもを見守ります。地域二世世代家族の育成に取り組みる地区を増やし、シニア世代によるふるさと文化の伝承を支援します。

## 医療・介護の充実

### ▼医療・介護の体制整備

団塊の世代が全員75歳以上になる2025年が近づいてきました。

保健医療計画と老人福祉計画を同時に改定し、医療と介護の体制を一体的に整備します。

病院における回復期病床への転換と特別養護老人ホームの整備を並行して進めます。また、神戸市西区玉津にある県内最初の特別養護老人ホーム「二万寿の家」を元鈴蘭台西高校用地に移転するとともに、民間活力を活用し、地域の介護福祉拠点を整備します。

在宅介護では、定期巡回・随時対応サービスに参入する事業者を増やすため、人件費に加え、事業所の整備費や賃料への助成を行います。24時間対応の訪問看護ステーションを増やし、在宅看護の体制

を強化します。

### ▼介護人材の養成

介護人材が不足しています。福祉人材センターの窓口を新たに県内5カ所で開設し、就職支援を行うとともに、外国人技能実習制度を活用して介護職の実習生を受け入れます。総合衛生学院では、2019年度から介護福祉士学科を設置します。

### ▼地域医療の充実

地域の医療資源を有効に活用するため、改定する保健医療計画では2次保健医療圏域の再編や準圏域の設定を予定しています。疾病・事業ごとに地域の実情に応じた医療体制を構築します。

### ▼県立病院の充実

丹波医療センター（仮称）の2019年度開院を目指し、整備を進めます。はりま姫路総合医療センター（仮称）は設計を進めます。西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編

は基本方針を明確化し、がんセンターについては今後の在り方を検討します。



丹波医療センター完成予想図

### 健康づくりの推進

#### ▼健康寿命の延伸

県民の健康寿命の男女とも1歳延伸をめざします。  
特定健診の結果や医療費、介護保険のデータを収集解析し、地域の特性に合わせて健康課題を示し、生活習慣の改善を促します。

社員の健康づくりに取り組む企業を応援します。がん検診や歯科健診の受診費用に対する助成を行います。

中小企業で健康に働ける環境を整えるため、「ファミリ

ーパック（中小企業従業員共済事業）への助成を行い、人間ドックなどの利用を促進します。

#### ▼認知症医療体制の充実

認知症予防と「チエックシート」による早期発見を推進します。また、認知症患者医療センターを増設するとともに、地域ごとに医療機関のネットワーク化を図り、身近な医療機関での相談から診断、支援へと切れ目なく対応できる体制を整えます。

#### ▼国民健康保険制度の基盤強化

国民健康保険の運営基盤を強化するため、新年度から市町とともに県も保険者になります。制度改革に伴い保険料が急激に上昇する市町へは激変緩和措置を講じるなど、円滑な移行に努めます。

### ユニバーサル社会づくりの推進

#### ▼ユニバーサル社会づくり

ユニバーサル社会づくりの理念と施策を規定した条例を制定します。併せて、手話講座を各地で実施するとともに、

### 譲りあい感謝マーク



### ヘルプマーク



内部障害者や難病患者など、配慮が必要なことが外見からは分かりにくい人が身に付けています。これらのマークを付けている人を見掛けたら、バスや電車で座席を譲るなど、配慮してください。

研究所をロボットリハビリテーションの拠点とするため機能強化し、阪神地域では新たなリハビリテーション拠点の必要性を検討します。

#### ▼障害者スポーツ拠点の整備検討

ワールドマスターズゲームズ2021関西を見据え、障害者スポーツの普及を図るため、県立総合リハビリテーションセンターに障害者スポーツ拠点の整備を検討します。

### 安全安心の地域づくり

#### ▼自殺対策の強化

2017年の県内の自殺者数は976人と2年連続で千人を下回りました。さらに「いのちと心のサポートダイヤル」の回線数を増やし、SNSも活用して相談体制を充実させます。

#### ▼消費生活相談の強化

消費者問題が多様化、複雑化しています。市町の相談体制も整ってきたことから、県の地域消費生活センターの相談機能を消費生活総合センターに集約し、高度な相談に対

応できる体制を整備します。

#### ▼民泊の適正な運営の確保

6月に住宅宿泊事業法、いわゆる民泊法が施行されます。生活環境の悪化やトラブルの発生が懸念されることから、民泊を制限する区域や期間を地域の特性に合わせて設定し、適正な運営を誘導します。

### 消費者ホットライン

市町や県が設置する、近くの消費生活相談窓口につながります。商品やサービスなど消費生活に関する相談を消費生活相談員がお受けし、解決に向けた助言・あっせん等を行います。

いよいよ  
188番  
局番なし

### 兵庫県のちと心のサポートダイヤル

心の健康相談を中心に、自殺予防につながるよう、精神保健福祉士や臨床心理士らが相談に応じます。

電話番号 078(382)3566

相談時間 月曜～金曜 18時～翌朝8時30分  
※土曜、日曜、祝休日は24時間対応

# 次代を担う 人づくり

## 教育の充実

### ▼学力向上対策の推進

子どもの学力向上に取り組みます。県教育委員会が指定する市町を中心に、地域人材を活用した放課後の補充学習を拡充します。「ひょうごつまずきポイント指導事例集」を活用して授業の改善にも取り組みます。

### ▼兵庫型「体験教育」の充実

本物に触れ、周囲との絆を感じる経験を通して豊かな人間性や社会性を育む兵庫型「体験教育」を推進します。小学5年生の自然学校では、感動体験をもたらす魅力的なプログラムの普及に取り

組み、中学生へは、ふるさと  
の魅力発見を促す副読本を  
配布します。

### ▼県立高校の特色化

学びたいことが学べる高校  
の魅力・特色づくりを進める  
ため、姫路西高校に国際理  
学科を、武庫荘総合高校に福祉  
探求科を新設するなど、高校  
の特色化を進めます。

### ▼小規模高校への対応

小規模高校でも多様な学び  
ができるよう、遠隔授業シ  
ステムを2校に導入し、その効  
果を検証します。

### ▼いじめや問題行動への対応

いじめや問題行動の深刻化  
を防ぐ鍵は、  
早期発見です。  
スクールカウ  
ンセラーとス  
クールソーシ  
ヤルワーカー  
の配置を増や  
すとともに、  
SNSを活用

した教育相談窓口を試験的に  
開設します。

### ▼教職員の負担軽減

教員が教育に専念できる  
環境をつくるため、地域人材  
がスクール・サポート・スタ  
ッフとして業務の一部を担  
うモデル事業を行います。中  
学校へは部活動指導員を配  
置します。

### ▼私立高校の授業料軽減

私立高校に通う家庭の負担  
軽減を図るため、授業料の軽  
減措置を拡充します。平均授  
業料の上昇に伴い助成額の引  
き上げを行うとともに、年収  
590万円未満相当の世帯を  
対象に、国が授業料無償化を  
行う2020年度までの間、  
国に先行して、県独自の段階  
的な軽減措置を行います。

## 多様な人材の育成

### ▼県立大学の魅力向上

神戸商科キャンパスの経済  
経営学部を2019年度から  
文理融合型の社会情報科学部  
(仮称)とグローバル人材を  
育成する国際商経学部(仮  
称)に再編します。このため、

新たな教育研究棟や国際学生  
寮を整備します。

### ▼専門人材の育成

環境人間学部では専門教育  
を横断的に進めるため、コ  
ースを再編します。

### ▼実践的な職業教育を行う専門職大学院について

但馬で観  
光・文化をテーマに、開設に  
向けた具体的な内容の検討を  
進めます。淡路では食をテ  
マに検討を行います。



淡路景観園芸学校（淡路市）

## カムバックひょうごセンター(神戸) カムバックひょうご東京センター

UJIターンを促進するため、移住相談や地域の各種支援策などの情報提供を行う総合窓口を神戸市と東京都に設置しています。

**④ 神戸**◆開設時間＝月曜～金曜10時～18時30分、土曜10時～17時30分 **④ 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6階**  
☎078 (360) 9971 ☎078 (360) 0071

**④ 東京**◆開設時間＝火曜、水曜、金曜10時～18時30分、土曜10時～17時30分 **④ 東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル3階**  
☎03 (6262) 5995 ☎03 (6262) 2730



カムバックひょうごセンター(神戸市中央区)

カムバックひょうご



元気な  
地域づくり

移住・定住の促進

▼カムバックひょうごの推進

UJターン・ワンストップ窓口であるカムバックひょうごセンターを強化します。兵庫の良さを体感してもらうため、東京、大阪からのお試し移住ツアーを実施します。

▼県内企業への就職促進

昨年末1・36倍と本県の有効求人倍率が高い水準で推移しており、人手不足感が強まっています。若者の県内就職と定着を促進するため、引き続き「ひょうごで働こう！プロジェクト」に取り組みます。兵庫型奨学金返済支援制度は、補助期間を最長5年まで延長し、中小企業の人材確保を支援します。

面接旅費、転居費用助成は、対象地域を拡大するとともに新たに企業の採用力強化に向けた取り組みを支援します。

第2新卒者に対しては、転職希望者を積極的に受け入れる企業の情報提供を強化します。

県民総活躍の促進

▼女性の活躍促進

本県の女性就業率は依然低い状況です。就業相談や職場の意識改革を促す研修を実施するなど、女性の活躍を応援します。

▼高齢者の活躍促進

元気な高齢者が増えていきます。ひょうご・しごと情報広場と県民局・県民センターに就労相談支援窓口を開設し、シニア世代に就職情報を提供します。

▼障害者の就労促進

県内企業の障害者雇用率が初めて2%を超えました。障害者の社会参加と自立を促進するため、特例子会社や事業協同組合の設立を支援します。在宅で行える仕事の開拓、インターネットを活用した授産製品の販売促進など、所得の向上を後押しします。

産業の活性化

▼次世代産業の育成

航空、ロボット、水素等環境、健康・医療などの次世代



暮らしに「ほかい」を堪能します  
+ NUKUMORI

障害のある人が地域の障害福祉事業所で作った雑貨やスイーツのインターネットショップです。新商品も続々登場しています。ぜひ、アクセスしてください。

+NUKUMORI 検索

▼企業の海外展開支援

産業を育成するため、中小企業の参入支援、人材育成を推進します。重点分野にAI・IoTを追加し、第4次産業革命への対応を進めます。大型放射光施設Spring-8などを生かして新材料の開発を進めるため、産学官による放射光利用の推進体制を整備します。

海外に活路を求める中小企業が増えています。実現可能性調査を支援するとともに、JICAやJETROとも連携

▼起業・創業の促進

して海外展開を後押しします。昨年開設した起業プラザひょうごは若者を中心に利用が進んでいることから、若手起業家向けの支援事業を創設します。

多自然地域に限定していたI-T関連事業所の開設支援の対象地域を中小都市にも拡大します。高度な技術を持ち、国内外で活躍しているI-T起業家と連携し、I-Tベンチャーの誘致に取り組みます。制度融資の新規開業貸付に、経営者の個人保証を取らない制度を新設します。



平成29年10月に開設した起業プラザひょうご（神戸市中央区）

▼企業立地の促進

県内への産業立地を強化します。支援制度の申請期間を

建築確認申請の日まで1年程度延長し、制度の利便性を高めます。

▼ものづくりの振興

但馬技術大学校内に県内4カ所目のものづくり支援センターを設置します。但馬地域の企業の支援拠点として、独自技術の発掘・育成等に取り組みます。

▼事業承継の促進

黒字経営でありながら後継者がいないために廃業する企業が増えています。商工会、商工会議所、金融機関と連携して事業承継に悩む企業を支援する体制を整備します。

▼商店街の振興

県政150周年を記念したにぎわいづくりを支援します。次のリーダーを育てるため、若手事業者の発想を生かした取り組みへの支援を強化します。

農林水産業の基幹産業化

▼農業経営の法人化促進

農業の持続的な発展のため、農業経営の法人化を進めます。

設備の導入助成により法人化を促進するとともに、財務や労務管理など経営面の支援を行います。企業参入への支援も拡充します。

### ▼新規就農者の確保・育成

新規就農者を増やします。農業施設貸与や農業次世代人材投資資金の交付を引き続き実施するとともに、技術指導や地域への溶け込み支援を行います。U・Jターン就農を促進するため、東京や大阪で相談会を開催します。

### ▼施設園芸の普及・拡大

加西に整備した次世代施設園芸団地は、平均すると一日にトマト約1万1千個、ミニトマト約7万3千個の安定出荷ができる施設となっています。中山間地域においても経営規模に応じた施設園芸を展開できるように、加西拠点のノウハウを生かした環境制御機器の導入など、農家への支援を拡充します。

### ▼畜産業の規模拡大

但馬牛2万頭増頭計画の達成を目指します。規模拡大や新規参入する畜産農家の負担を軽減するため、賃貸する牛

舎の整備を支援するとともに、肉用牛の飼育を助けるヘルパ―組織の運営を支援します。

### ▼県立森林大学の校の 本格開校

「森林大学校」は、今秋、宍粟市内の小学校跡に移転し、本格開校します。より高度なカリキュラムを展開し、森林林業の担い手を育成します。



県立森林大学校の実習の様子

### ▼県産木材の利用促進

丹波の木質バイオマス発電所が稼働を始めました。燃料材を含む木材需要の拡大に対応するため、林内路網など林業基盤の整備を進めます。所有者不明の森林が健全な森づくりの妨げになっていることから、集落ぐるみで行

う所有者追跡調査への支援を始めます。

付加価値の高い建築用材の利用を増やす必要があります。工務店と連携した県産木造住宅の展示・相談会の実施や、木材を耐火構造部材として利用するための研究も行います。CITを活用した林業会館の建て替えも引き続き支援します。

### ▼豊かで美しい里海づくり

瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するため、イカナゴなどの水産資源の維持に必要な栄養塩類の管理手法の開発に取り組みます。下水処理場の管理運転も行います。

生物の生息環境を改善するため、藻場や干潟の再生等を進めます。

### ▼漁場の整備

漁場整備については、日本海でスワイガニやアカガレイの増殖場、瀬戸内海で第2の鹿ノ瀬構想に基づく増殖場の整備を推進します。

### ▼県産ブランドの育成・発信 強化

国内外の観光客に但馬牛・神戸ビーフの魅力発信する拠点となる「神戸ビーフ館

(仮称)」の2018年度中のプレオープンを目指します。

### 鳥獣害対策の充実

### ▼シカ・イノシシの捕獲対策

野生鳥獣による農林業被害は依然深刻な問題です。捕獲目標をシカ4万6千頭、イノシシ2万頭に増やします。市町の要請により捕獲を代行する専門家チームを編成するほか、狩猟中のシカ、イノシシの捕獲を促進するため、捕獲報償金制度を拡充します。スマートフォンで遠隔操作できる大型捕獲おりの導入など、ICTを活用した対策も進めます。射撃訓練や捕獲技術の研修を行う狩猟者育成センター(仮称)の整備に向け、環境調査を行います。

### ▼シカ肉の有効活用

捕獲したシカを有効に活用するため、搬入、回収、処理加工、流通、消費の一貫した体制を構築します。処理加工施設から遠い場所で捕獲されたシカの回収を促すため、臨時置場となる冷凍コンテナの設置や保冷車の導入を支援します。

### 交流人口の拡大

### ▼ツーリズムの振興

外国人旅行者数で大阪、京都に大きく差をつけられています。魅力発信の強化が必要です。神戸、姫路城、城崎温泉をはじめ、本県の誇る観光資源を結び付けた「ひょうごごーるデンルート」をSNSで強力に発信します。

兵庫の自然や文化を生かした体験プログラムの開発、世界最大のオンライン旅行社との連携などにも取り組みます。海外では急速にキャッシュレス化が進んでいます。海外からの買い物客を呼び込むため、商店街の小売店、飲食店におけるスマートフォン決済の導入を支援します。

### ▼全国初の旅券事務所土日 開庁

利便性向上のため、旅券事務所を土日開庁し、旅券の申請受付・交付を行います(ただし、月曜、火曜は閉庁)。

### ▼国際交流の推進

県政150周年を契機に、本県と交流を促進してきた姉妹・友好州省等20地域の代表

を招待し、「姉妹・友好州省サミット」を開催します。

▼地域の魅力向上

地域の多様な魅力の一つ一つに磨きをかけなければなりません。

国立公園六甲山では、神戸市と共にランドデザインを策定し、遊休施設の再生を促します。登山者や外国人観光客の増加に対応するため、自然保護センターをリニューアルし、名称もビクターセンターに改め、現在休館している冬期も開館します。

四つの日本遺産を生かした周遊ルートの開発にも取り組めます。銀の馬車道・鉱石の道では、明延と神子畑の接続ルートの整備を検討します。山陰海岸ジオパークの運営体制や拠点施設を強化し、ユネスコ世界ジオパーク再認定を目指します。

新発見への期待が高まる篠山層群の化石については、調査範囲を特定して本格的な発掘調査に取り掛かります。

自転車を楽しむ人が増えています。アワイチで人気の淡路島にさらに多くのサイクリ



明延鉱山に残る一円電車(養父市)

ストを呼び込めるよう、徳島県と連携して、大鳴門橋への自転車道の設置を検討します。

▼県立都市公園のリンベーション

身近な憩いの場である県立都市公園のリンベーションを順次実施していきます。明石公園、甲山森林公園の再整備を行うとともに、有馬富士公園、淡路夢舞台温室のリンベーションを検討します。

芸術文化・スポーツの振興

▼芸術文化の振興

県立美術館「プラド美術館

展」、兵庫陶芸美術館「ひょうごのやきもの150年」、県立歴史博物館「線路はつづくレールでたどる兵庫五国の鉄道史」、県立考古博物館「ひょうご五国の始まりを探る」など県政150周年記念特別展を開催します。また、記念日である7月12日から16日の無料開放や、各館が連携したスタンプラリーを実施します。

▼スポーツの振興

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催準備を加速します。生涯スポーツの裾野を広げるため、女性スポーツの活性化を応援する組織の設立やスポーツクラブ21ひょうごの活性化を支援します。秋にマレーシアのペナンで開催される「アジアパシフィックマスターズゲームズ」への参加ツアーを募集します。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、未来のスーパーアスリートの育成を支援します。事前合宿の招致にも市町と連携して取り組みます。

地域創生の取り組み

📍地域創生課 ☎078(362)4221 📞078(362)3950 兵庫県 地域創生 🔍検索

県では、平成27年度に策定した兵庫県地域創生戦略に基づき、人口減少社会が抱える構造的な課題に中長期的な視点で挑む「地域創生」に取り組んでいます。人口の「自然増対策(子ども・子育て対策、健康長寿対策)」、「社会増対策」と「地域の元気づくり」の4つの戦略目標に基づく施策を展開し、兵庫らしい地域創生の実現を目指します。

ひょうご出会いサポートセンター  
(県内10カ所)

ひょうご出会いサポート  
東京センター

進行する未婚化・晩婚化に対して、出会いイベント・個別お見合い紹介などを通じて独身男女の出会い・結婚を支援しています。

📍(本部) ☎078(891)7415 📞078(381)6829  
(東京) ☎03(6262)3035 📞03(6262)3036

ひょうご 出会い 🔍検索

ポータルサイト  
「夢かなうひょうご」

兵庫への移住や兵庫での就業を考える人に向け、兵庫の「暮らし」「仕事」「イベント等」の情報を発信しています。ひょうご de START会員に登録(無料)することで、これらの情報をいち早くお届けします。



夢かなうひょうご 🔍検索

兵庫県公式地域創生  
Instagram

皆さんから投稿された兵庫県に関する写真を、写真共有型交流サイトのInstagramで紹介し、兵庫の魅力を発信して地域の活性化につなげます。

ハッシュタグ #lovehyogo

Instagram 兵庫 🔍検索

## 自立の 基盤づくり

### 防災・減災対策の強化

#### ▼地震・津波対策

南海トラフ地震に備え、防潮堤などの整備を計画的に推進します。日本海側の整備計画も策定します。

#### ▼避難対策等

緊急時の円滑な避難を支援するスマートフォン向けの情報伝達アプリを開発するとともに、災害時要援護者の個別支援計画の策定を進めます。

巨大災害に警鐘を鳴らす必要があります。わが国の防災・減災力の向上に貢献する人と防災未来センターの展示機能の在り方を検討します。

#### ▼風水害対策

豪雨災害が頻発しています。第3次山地防災・土砂災害対策計画に基づき、治山ダムや砂防堰堤等の整備、災害に強い森づくりを進めます。河川の拡幅や洪水調節施設の整備も行います。

また、県民や市町が的確に

避難判断や行動ができるよう、地域の防災情報を提供するCGハザードマップの利用促進や土砂災害特別警戒区域の指定推進に取り組みます。

#### ▼ため池対策

ため池を総合治水条例の指定貯水施設に指定して浸水被害の軽減に活用します。台風期を通じてあらかじめ水位を下げて大雨に備えてもらうよう管理者を支援します。

ため池の安全管理を支援する窓口を設置するとともに、小規模ため池の台帳を整備するなど、下流への影響が懸念されるため池の安全確保を図ります。

#### ▼道路などの老朽化対策

インフラ・メンテナンス10箇年計画に基づき、計画的・効率的な老朽化対策を推進します。

### エネルギー！環境対策 の推進

#### ▼地球温暖化対策

温室効果ガスの排出削減目標を達成するため、うちエコ

診断の実施体制を強化し、中小事業所へは省エネ設備の導入を支援します。  
バランスの取れた再生可能エネルギーの導入を目指し、バイオマス発電や小水力発電、家庭用蓄電システムの導入などを支援します。

#### ▼水素エネルギーの普及

水素エネルギーの活用方策や水素受け入れ拠点の立地可能性を検討し、取り組み方針を定めます。県内3カ所目の水素ステーションの整備を支援します。



水素ステーション（尼崎市） 岩谷産業株式会社提供

#### ▼廃棄物対策の推進

海の環境を改善するため、漂流ごみ、海底ごみなど海ごみの効率的な回収、処理方法

について国、市町と連携して確立を目指します。

アスベスト使用建築物の解体が今後増える見込みです。飛散防止を徹底するため、解体現場の監視を強化します。

### 交流基盤の整備

#### ▼基幹道路ネットワークの整備

基幹道路ネットワークは地域活性化の基盤です。

大阪湾岸道路西伸部、神戸西バイパス、中国横断自動車道姫路鳥取線、東播磨道、山陰近畿自動車道、北近畿豊岡自動車道の早期整備、名神湾岸連絡線、播磨臨海地域道路の早期事業化を推進します。

2050年を見据えた基幹道路ネットワークの将来像を示す新たな基本計画を策定します。

高速道路の利便性を高めるスマートインターチェンジの整備を進めます。淡路ハイウェイオアシス、山陽自動車道三木サービシアなどでの整備を検討します。

#### ▼港湾の利用促進

姫路港ににぎわいを取り戻すため、旅客船ターミナル一帯の再整備計画を具体化します。陸上輸送から海上輸送への転換を促進するため、姫路港と神戸港を結ぶ内航フェリー航路の開設可能性を探ります。

#### ▼関西3空港の最大活用

神戸空港が民営化され、関西3空港の実質的な一体運営が始まりました。今後さらなる航空需要の拡大が見込まれる3空港の最大活用に向けた運用の見直しが行われます。国をはじめ、経済界、関係府県市に3空港懇談会の早期開催を働きかけます。



新たに但馬路線に就航するATR42-600

▼但馬空港の利用拡大

但馬路線に新機材ATR42-600を導入します。増える座席数を生かして団体旅行を呼び込むため、旅行会社が開発する首都圏からの団体旅行商品に対して助成します。

▼地域の移動手段の確保

年を取り、車を運転しなくなっても安心して生活できる環境をつくらなければなりません。路線バス、コミュニティバスの運行を支援するとともに、自家用車などを用いた地域団体の自主運行バスへの支援を拡充し、立ち上げを促進します。

活力あるまちづくり

▼空き家対策の充実

共同住宅や不動産業者が取り扱う物件を改修する場合も新たに支援対象とします。事業所に改修する場合は助成額を増やします。閉鎖された事業用建物やオフィスビルの空き床を活用する場合には改修費や賃料を助成します。

古民家再生への支援を拡充



空き家を改修した宿泊可能なゲストハウス

します。歴史的建築物については、ひょうこの近代住宅100選も対象に加えて支援します。

▼三宮駅周辺の再整備

兵庫の玄関口、三宮駅周辺の再整備が進んでいます。神戸市がこの3月に策定したエリア一帯の整備方針や新バスターミナルの整備基本計画の早期実現を支援します。

▼県庁周辺の整備

本庁舎1・2号館や県民会館の老朽化、神戸県民センター移転後の神戸総合庁舎の活用などの課題を踏まえて、本庁舎周辺の再整備を検討

します。このため、まず本庁舎1号館の耐震診断を実施します。

地域自立の推進

▼県の情報発信体制の強化

県の情報を県民に分かりやすく確実に届けます。新たに外部の人材を広報官に登用し、SNSの効果的な活用や広報紙の紙面刷新などを進め、県の情報発信力を強化します。

▼地方分権改革の推進

国の権限と財源を大きくりで地方に移譲する地方分権が必要です。

このため、憲法における地方自治の本旨の明確化などを国民的議論に高めるとともに、国の事務・権限を限定する新たな法律の制定や実験的な権限移譲の制度創設を国に提案します。

また、規制改革の新たな取り組みを始めます。過去に県や市町が独自に設けた規制が地域活性化の支障となっている事例を掘り起こし、その解消に努めます。

関西広域連合の取り組み

☎広域調整課 ☎078(362)4006 ☎078(362)4479

関西広域連合では、3年間の取り組みの指針となる第3期広域計画（平成29年～31年）に基づき、防災をはじめとする7分野の広域事務の実施や広域課題に対する企画調整、国の事務・権限の移譲などに関西一丸となって取り組みます。

広域防災

災害に備え、被災者支援を円滑に行うため、防災・減災力の向上に向けた事業や、実効性の確保のための広域応援訓練を実施しています。さらに、過去の教訓を踏まえた調査研究や事前の防災対策のシナリオ化など一連の災害対策を担う防災庁の創設に向けた啓発活動を展開します。



例年実施している関西広域応援訓練

広域医療

救急搬送体制のさらなる充実を目指し、平成30年3月より鳥取・兵庫エリアを担当する「鳥取県ドクターヘリ」の運航を開始しました。関西全域をドクターヘリ7機がカバーし、安全・安心を支えます。



日本一の出勤実績を誇る公立豊岡病院ドクターヘリ

広域観光・文化・スポーツ振興

関西への外国人旅行者誘致のため、官民一体となって設立した広域連携DMO「(一財)関西観光本部」と連携し、戦略的な観光プロモーションなどを実施します。さらに、東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスタースゲームズ2021関西等の開催控え、関西文化の魅力などを発信し、国内外にわたり「KANSAI」の知名度向上を目指します。



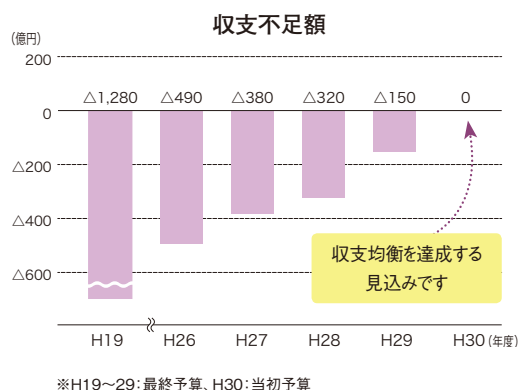
オーストラリアにおけるトッププロモーションおよびワールドマスタースゲームズ2017オークランド大会における関西大会PR

# 行財政構造改革の取り組み

県は、阪神・淡路大震災からの創造的復興を成し遂げるため、約1兆3千億円に上る震災関連県債を発行しました。この悪化した財政を立て直し、将来にわたって県民の要請に応えられる行財政基盤を確立するため、県民の皆さんの理解と協力の下、厳しい改革に取り組んできました。

その結果、平成30（2018）年度当初予算では、収支均衡をはじめ財政運営の目標を達成する見込みです。

しかし、本県を取り巻く財政環境は引き続き予断を許さない状況であることから、平成30年度の行革検証の中で2019年度以降の行財政運営の基本的な枠組みを検討していきます。



## 平成20年度からの取り組み

改革内容	
●組織	本庁の部の再編 6部 [H19] → 5部 [H20～] (▲1部) ※9部体制 [H11] から、6部体制を経て、5部体制へ再編
	地方機関の事務所の統合再編 111事務所 [H19] → 70事務所 [H30] (▲41事務所)
●定員	一般行政部門定員削減 8,279人 [H19] → 5,795人 [H30見込] (▲2,484人)
●給与	役職に応じて抑制措置を実施 給料▲7% (部長・局長級)～▲2.5% (若手職員) 等 ※H27から段階的に縮小 (H30:管理職以外の一般職員の抑制措置を解消)
●事務事業	限られた財源の中で最大の効果が得られるよう「選択と集中」を徹底 3,013事業 [H19] → 1,612事業 [H30] (▲1,401事業:削減2,728、新規1,327)
●投資事業	地方財政計画の水準を基本に投資規模を見直し、災害対策・長寿命化対策等にも対応 2,540億円 [H19] → 1,600億円 [H30当初] (▲940億円)
●公社	公社等の統廃合 ▲5団体
	県派遣職員の削減 576人 [H19] → 268人 [H30見込] (▲308人) ※新行革プラン策定後の移管等除く

問 新行政課 ☎078 (362) 3045 ☎078 (362) 9478 詳細は県ホームページに掲載しています [兵庫県](#) [行革](#)

# 県議会とは

県議会は、豊かで住みよい兵庫を実現するため、県民の選挙で選ばれた議員（任期4年）が、県政の基本的な事項について話し合い、決めていく場です。

県議会には、定期的に行われる「定例会」（年4回／2月、6月、9月、12月）と、必要に応じて臨時に開かれる「臨時会」があり、全議員が出席し、県の意思決定を行います。限られた会期中で、多くの議案などを審議・審査するため、少人数の委員会を設け、専門的に詳しく審査しています。

## 議案成立までの流れ

県議会では、知事や議員から提出された予算、条例などの議案の審議のほか、意見書の提出・決議、県政の調査・検査、請願・陳情の審査などを行います。議会に提出された議案は、本会議から関係する委員会に付託され、審査・調査が行われた後、本会議において議決されます。

### 議員提出議案・知事提出議案

#### 本会議

- ・議会への提出
- ・提案者による説明
- ・質疑・質問
- ・委員会への付託

#### 委員会

- ・提案者による説明
- ・質疑・意見開陳
- ・表決

#### 本会議

- ・委員長報告
- ・委員長報告に対する質疑
- ・討論
- ・表決

#### 可決した議案

知事が実施するものは知事へ送付

#### 本会議

#### 議会運営委員会

#### 常任委員会

総務、健康福祉、産業労働、農政環境、建設、文教、警察

#### 特別委員会\*

予算特別委員会  
決算特別委員会

\*予算特別委員会は2月定例会で、決算特別委員会は9月定例会で、それぞれ設置されることが通例となっています



議会広報PRキャラクター  
ひょうごはかせ  
「兵議博士」

## 県議会ホームページ 県議会フェイスブック

県議会の仕組みや活動状況、傍聴のご案内のほか、本会議や常任委員会などの審議状況をインターネットによりライブ中継と録画配信しています。また、県議会フェイスブックでは、最新のトピックスなどの新着情報を提供しています。

[兵庫県議会](#) [検索](#)

## ひょうご県議会だより

年4回発行（全世帯配布議会広報紙）/年4回開催される定例会の審議内容等を紹介しています。

## 議会総合誌 「はい、県議会です。」

年1回発行/議会の役割や仕組み、常任委員会活動などを紹介しています。

## 本会議の傍聴については

- ① 議会事務局総務課
- ☎078(362)3708
- ☎078(362)3924

# 県の情報・魅力を発信しています

## テレビ番組

### サンテレビ



日曜8時30分～9時  
(再放送:月曜18時～18時30分)  
県の取り組みや地域のさまざまな魅力、輝く人などを紹介する情報番組。

「IDOカフェ」コーナー(毎月第3日曜)では、知事が地域で活躍している人と対談します。

[ひょうご発信!](#) [検索](#)

## ラジオ番組

### ラジオ関西

#### こちら知事室! 井戸敏三です

第2火曜8時7分～33分  
ワイド番組「三上公也の情報アサイチ!」に知事が生出演しています。

#### 兵庫県からのお知らせ

月曜～金曜7時7分ごろ

[Kiss FM KOBE](#)

#### 兵庫県からのお知らせ

土曜18時55分ごろ

放送されたテレビ・ラジオ番組は、「県ホームページ」や「ひょうごチャンネル」テレビ番組のページでも視聴できます

## 広報紙・誌

### 兵庫県広報紙 Hyogo 県民だより

毎月発行(県広報紙)/県の重要施策をはじめ地域の魅力や取り組み、県からのお知らせなどを紹介しています。

#### 声の広報

#### 「愛の小箱」

毎月発行/県政の動きなどを紹介。目の不自由な人にCDでお届けしています。

制作発行:(社福)兵庫県視覚障害者福祉協会

#### 点字広報誌

#### 「広報ひょうご」

毎月発行/県政の動きなどを紹介。目の不自由な人に点字でお届けしています。

## インターネット

### 兵庫県ホームページ

主要施策、防災情報、イベント等の県政情報のほか、知事定例記者会見などを視聴いただけます。

[兵庫県](#) [検索](#)

### ひょうごチャンネル

県のイベント、広報番組などを動画で紹介するほか、魅力ある地域資源の動画素材を無料で提供しています。

[ひょうごチャンネル](#) [検索](#)

### ふるさと兵庫「すごいです」

兵庫を元気にしている人やふるさと兵庫の魅力を発信するネット情報誌です。

[すごいです](#) [検索](#)

### ツイッター「hyogokoho」

防災情報やイベント、観光情報などについて発信しています。

[hyogokoho](#) [検索](#)

### メールマガジン ひょうごさわやか通信

県政ニュースやお出掛け情報などを毎週配信しています。

[ひょうごさわやか通信](#) [検索](#)

### さわやか提案箱

県に対するご意見を募集。

[さわやか提案箱](#) [検索](#)

### ライン「はばタン」

兵庫県マスコット「はばタン」が、毎週情報をお届けします。右のQRコードから「友達追加」を選択してください。「はばタン」スタンプ販売中。



### フェイスブック「はばタンなび」

兵庫県マスコット「はばタン」が、観光やイベント情報など「ひょうごの魅力」をお届けしています。

[はばタンなび](#) [検索](#)

こんにちは、はばタンです！  
ラインでほんとに友達になってね！  
クイズや写真で楽しく県の情報を紹介するよ！



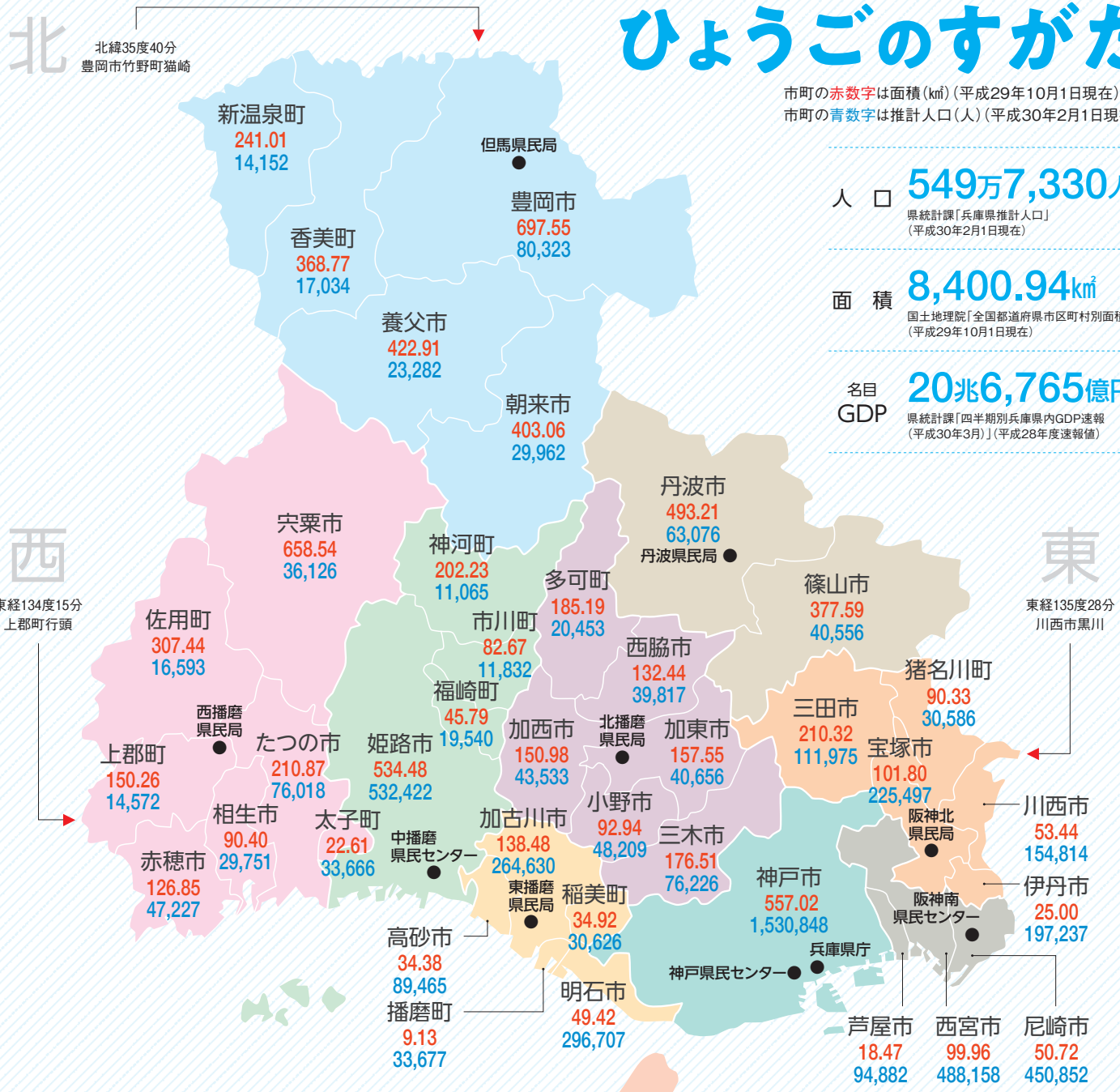
# ひょうごのすがた

市町の赤数字は面積(km<sup>2</sup>) (平成29年10月1日現在)  
市町の青数字は推計人口(人) (平成30年2月1日現在)

人口 **549万7,330人**  
県統計課「兵庫県推計人口」  
(平成30年2月1日現在)

面積 **8,400.94km<sup>2</sup>**  
国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」  
(平成29年10月1日現在)

名目 GDP **20兆6,765億円**  
県統計課「四半期別兵庫県内GDP速報」  
(平成30年3月) (平成28年度速報値)



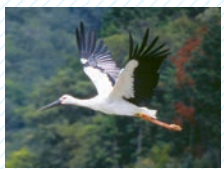
**県旗**  
セルリアンブルーをバックに、波の形をデザインした「兵」の字を白く抜き、南北を海に接した県の姿を象徴しています。  
(昭和39年制定)



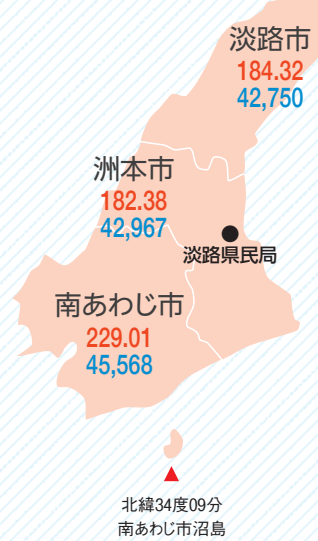
**県花・ノジギク**  
NHKが郷土の花を募った時、兵庫県の花として選ばれました。11月ごろ白い花を咲かせます。  
(昭和29年選定)



**県樹・クスノキ**  
強健で雄大な姿が県のイメージと合います。県の天然記念物に指定されている樹もあります。  
(昭和41年制定)



**県鳥・コウノトリ**  
昭和31年に国の特別天然記念物に指定。但馬地域で保護・増殖・環境整備に取り組み、平成17年9月、野生復帰に向けた試験放鳥に成功しました。  
(昭和40年制定)



北緯34度09分  
南あわじ市沼島

## 南

### 県政の総合的な相談窓口

困ったとき、まずは「さわやか県民相談」へ

県政へのご意見・ご要望や、日常生活の相談など。

- 神戸 ☎0120(16)7830
- 中播磨 ☎0120(27)7830
- 阪神南 ☎0120(13)7830
- 西播磨 ☎0120(83)7830
- 阪神北 ☎0120(47)7830
- 但馬 ☎0120(31)7830
- 東播磨 ☎0120(26)7830
- 丹波 ☎0120(32)7830
- 北播磨 ☎0120(61)7830
- 淡路 ☎0120(36)7830

相談日時 月曜～金曜(祝休日、年末年始を除く) 9時～17時30分  
※12時～13時は転送電話により神戸(県民総合相談センター)で対応

※通話無料(携帯電話からはつながりません)  
※その他、県庁でも受け付け ☎078(371)3733  
【相談日時: 月曜～金曜(祝休日、年末年始を除く)9時～12時、13時～17時30分】

### 県民総合相談センターでの専門相談

相続や離婚などの家庭問題、認知症・高齢者、エイズ、登記、住まい、交通事故、外国人県民、国の行政、法律の専門相談窓口を開設。

☎078(360)8511

電話受付日時 月曜～金曜(祝休日、年末年始を除く) 9時～12時、13時～17時30分

※専門相談窓口は開設曜日・時間が決まっているので、事前に確認ください